

戦後70年
99歳・今語る戦争体験
NPT・被爆体験
原発の町を追われて

原爆と

げんばく

人間展

げんてん

ブログ：<http://blog.goo.ne.jp/oomiyagenbakuten>

twitter：@oomiyagenbakuten

*とき 2015年8月4日(水)～9日(日)

午前9時30分～午後5時(9日は午後4時まで)

*ところ 大宮図書館 展示ホール、視聴覚ホール
(大宮駅東口から徒歩15分、氷川参道沿い)

*きかく (いずれの企画も、入場無料です)

展示ホール		視聴覚ホール
◆新・原爆と人間展パネル	4日 火	10時 アニメ 「おこりじぞう」「つるにのって～とも子の冒険」「しんちゃんのさんりんしゃ」 午後2時 「私の被爆体験」木内恭子さん
◆戦争時の用品の展示 (埼玉県平和資料館より借用)	5日 水	10時 アニメ 「はだしのゲン」 午後2時 アニメ 「はだしのゲン2」
◆「はだしのゲン」の作者・中沢啓治さんの直筆おてがみ	6日 木	10時 アニメ 「はだしのゲン」 午後2時 平和のうたごえ 埼玉合唱団も参加！みんなで歌いましょう
◆見沼区常泉寺に灯されている「広島・長崎の火」	7日 金	10時 アニメ 「はだしのゲン2」 午後2時 ドキュメンタリー映画と講演 「原発の町を追われて」 ～避難民・双葉町の記録～堀切さとみ監督
◆旧大宮原子炉廃炉運動の記録	8日 土	午後2時 ココ企画による朗読劇 「戦後70周年企画・忘れえぬ形見」
◆平和を願うコーナー *折り紙(平和のつる) *紙芝居(毎日、1時)	9日 日	10時 99歳、ただひとり生き延びて 「今、語る70年前の“あの戦争”」 司会・近藤里沙弁護士 午後2時 NPT 核不拡散再検討会議 ニューヨーク行動に参加して 金子美佳さん

*このお知らせはさいたま市教育委員会のご協力により、旧大宮市の市立小中高すべての児童・生徒に配布されています。

後援：さいたま市・さいたま市教育委員会

主催・問合せ：「原爆と人間展」実行委員会 (090-1254-3502/星)

ごあいさつ

今年2015年8月は、広島・長崎に原子爆弾が投下されてから70年目の節目の年です。

五月には、核不拡散条約(NPT)検討会議がニューヨークの国連本部で開かれました。

被爆者の皆さんからは、自分達の生きているうちに核兵器を無くして欲しいとの切実な願いが大きく高まっています。世界では、核兵器の非人道性・残酷性の認識が大きく広がり、「核兵器廃絶を願う声」が日に日に強くなって

来ています。

ところが今年のNPT会議では、アメリカをはじめとする一部の核保有国の反対で、最終の合意文書がまとまりませんでした。まさに、被爆者の願いと平和を望む世界の人々の声を、踏みにじる行為と言わざるを得ません。今こそ、「核廃絶の草の根の運動」を強めなければなりません。

今年も、核兵器の恐ろしさを知らせ、「核の無い平和な地球」を実現するために、「原爆と人間展」を開催いたします。大勢の皆様のご来場をお待ちしております。

「原爆と人間展」実行委員会

視聴覚ホールのイベント

アニメ

4日(火) 10時

◆「おこりじぞう」(28分/幼児)

広島のある横丁に、「おこりじぞう」と呼ばれるおじぞうさんが立っている。地蔵をめぐるエピソードで紹介する広島の子供の悲劇。

◆「しんちゃんのおさんりんしゃ」

(24分/幼児)

食べものも遊び道具もない戦争末期、しんちゃんは、おじさんからのすばらしい贈り物の三輪車で遊んでいて原爆にあい亡くなった。3才の幼な児であった。

◆「The 999と母の言葉」

(30分/小学生)

病気で死んでしまったさだことともに、つるに乗って日陰するとも子。

5日(水) 10時 / 6日(木) 10時

「はだしのゲン」85分(1983年)

1945年4月の広島。国民学校(戦時中の小学校)2年生の岡ゲンは、父親の大吉が戦争を批判したことから非国民の子といわれていた。だが苦渋の生活に耐える一家の前で8月6日、広島にピカ(原子爆弾)が投下。ゲンは父、姉、弟を一瞬のうちに失った。このショックで早産した母・君江と、生まれた赤ん坊の妹・友子の面倒を見ながら、他の被災者とともにゲンは必死に生きた。

5日(水) 午後2時 / 7日(金) 10時

「はだしのゲン2」86分(1986年)

終戦から3年。小学4年生になったゲンは、妹の友子、戦災孤児で弟分の隆太たちとともに、母親を助けて懸命に生きていた。戦争・原爆の爪痕がまざまざと残りながらも、少しずつ復興の兆しが見える広島の地。だがそんな中、原爆による放射能は、ゲンの母・君江の肉体を今もひそかに蝕んでいた。

「原爆の町を追われて〜避難民・双葉町の記録〜」

7日(金) 午後2時

福島第一原発のお隣元から、役場機能ごと埼玉県に避難した双葉町。さいたまアリーナに一時避難した後、加須の旧發西高校で避難生活を送った町民に1年間密着した話題作。避難民の胸に秘めたリアルな言葉を知ることが出来ます。2012年4月発表、各地で上映会が開かれています。さいたま市在住の監督の堀切さとみさんに映画で描かれた後の現在の双葉町の状況をうかがいます。

ドキュメンタリー 演 講

さいたま市在住の監督の堀切さとみさんに映画で描かれた後の現在の双葉町の状況をうかがいます。

被爆体験

「私の被爆体験」

4日(火) 午後2時

しらすき会(埼玉県原爆被害者協議会)の木内恭子さんに広島での体験を語って頂きます。貴重な機会です。

うた

「平和のうたごえ」

6日(木) 午後2時

アコーデオンの伴奏で、学校唱歌、懐かしい歌、平和の歌などを歌います。埼玉合唱団の方も参加されます。一緒に歌いませんか？

戦争体験

今、語る 70年前の「あの戦争」 9日(日) 10時

①「魚雷の餌食となった民間(徴用)商船、ただひとり生き延びて」 渡部 忠さん(99歳)

②「極秘艦船名簿」から通信兵の知ったこと 小林明治さん(92歳)

(可成は「憲法ママカフェ」で活躍の近藤里沙弁護士(埼玉中央法律事務所所属)、若い世代を代表して今日に通じるお話を引き出していただきます)

NPT

「ニューヨーク行動に参加して」 9日(日) 午後2時

さいたま市で働く若者・金子美佳さんと黒羽めぐみさんがNPT核不拡散再検討会議開催中のNYで核兵器廃絶をアピールしてきた体験を語っていただきます。

口 企画



11回目の公演より

「忘れぬ形見」

戦後70周年企画 8日(土) 午後2時
今回で大宮の「原爆と人間展」に13回目の出演となります。「口企画」のみならず、「アンパンマン」のみみせんせいでお馴染みの滝沢ロコさんを中心に、毎年素晴らしい舞台を見せてくださいます。集団的自衛権が話題になっている今、聞け、わたつみの声から、若くして散った命の叫びをお届けします。